

# 福島県

(県南地区)

## 天敵カブリダニ類を活用したイチゴの安定生産

### 【1. 概要】

- ・イチゴ栽培において、天敵(カブリダニ類)を活用し、ハダニ類の効果的な防除を実施
- ・産地内導入面積は約35a
- ・県普及組織(県南農林事務所)では、イチゴ専門部会員40名に対し、「イチゴIPM推進研修会」を開催し、導入を推進

### 【2. 実践内容】

#### (1) 取り組みの背景、経緯

- ・ハダニ類に対する農薬の効果が低下していることを受け、農林事務所が中心となり、天敵の導入を推進した(図1)
- ・平成26年にはIPM技術導入の必要性や手法(天敵生物の使用、育苗期の高濃度炭酸ガス施用)を紹介する「イチゴIPM推進研修会」を開催し、部会員をはじめとする関係者52名が出席した(図2)

#### (2) 普及拡大に向けたポイント、成功要因

- ・天敵に影響の少ない農薬の選び方についての情報提供が不十分だった(生産者が天敵導入を見送る原因になった)ため、継続して「イチゴIPM推進研修会」を開催した

### 【3. IPMの推進による効果、得られた経験】

- ・天敵を導入したほ場では、ハダニ類に対する化学農薬の使用が減少した
- ・平成27年度には新規導入者が増加した



図1:ハダニ類によるイチゴの被害葉



図2:研修会の様子

【問い合わせ先】

農林水産部環境保全農業課  
電話: 024-521-7453